

「多くの人の笑顔のために」

- 重症心身障がい、難病、長寿医療を柱とし、地域に密着した専門医療を提供します。
- 社会的なアプローチを組み入れ、患者中心の心あたまる医療を実施します。
- 臨床研究、教育研修、安全管理をとおして常により質の高い医療を追求します。
- 公益性を確保し、効率的で自立した病院経営を推進します。



みんなで楽しくひなまつり会

2025年度を迎えて

当院は福井県最北部に立地し、障がい児(者)医療、神経・筋疾患、そして心不全・感染症・悪液質などの長寿医療を担い、地域に密着した診療を展開しています。さて2024年度は自然災害や歴史的な円安といった不安要素が多い年でありました。この2025年度も令和8年度診療報酬改定に向けた議論、医療法等改正による新たな地域医療構想と医師偏在対策、およびかかりつけ医機能報告制度の施行など、やはり医療界を取り巻く環境は今まで以上に私たちにとって決してやさしいだけのものではないようです。

2025年度も私たちは「多くの人の笑顔のために」を基本方針に、社会がどのように変わっていくとも、地域から求められていることは何かを常に考えながら、より安全で良質な医療看護介護を提供できるように職員ひとりひとりの力を結集して、来るべき時代の要請に当院の役割を十分果たしていきたいと願っております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



院長
見附 保彦

重心医療とリハビリテーション

小児科医長 大坂 陽子

重症児(者)の機能発達は一般よりも遅れたり、違う方向に進んだりしがちです。例えば摂食嚥下時は通常、口を閉じて物を飲み込みますが、重症児(者)では口を閉じずに飲み込む方がいます。試しに私も口を開けたまま唾液を飲んでみたことがあります。かなり難しいです。この方法が患者さんにとって適切なわけではなく、やはり上手く嚥下できずに誤嚥につながったりします。そこで摂食機能障害がある方には、機能の発達や維持、安全な摂食を目的として言語聴覚士が介入して訓練を行います。他にも、筋緊張のバランスが上手くとれず姿勢の保持が困難で変形拘縮が進行する患

者さんに、理学療法士がポジショニングの指導や座位保持装置の調整をする、作業療法士が生活訓練を行う、など、様々な場面にリハビリテーション科が関与します。そして有効なリハビリを行うためには検査・機能評価が重要です。

V F検査(嚥下造影)は摂食機能を評価する検査の一つです。当院はV Fを適切に行えるように透視室を改修しました。V Fの検査結果を食事場面に関わる多職種で共有して、患者さんが食事を安全に楽しめるよう援助していきます。



重症心身障がい児(者)の骨折予防ケアについて

4階病棟 看護師長 林 祐樹

当院では約90名の重症心身障がい児(者)、以下「重症児」の方々が入院されています。重症児の方々が日々、安全安楽に過ごせるよう環境調整や健康観察を行っていますが、その中で「いつのまにか骨折」という、受傷機転が明らかでない骨折を認めることがあります。骨折は本来、転倒などで強い衝撃が加わって起こりますが、原因となる衝撃がなくても、加齢や長期臥床で骨密度が低下し、また筋緊張亢進や栄養障害といった病態などがリスクとなると考えられます。そこで、日常のケアの中でも患者さんの状態を評価して骨折リスクを軽減しようと、重心チーム会の中で骨折防止のスケールを作成してリスク判定を行い、ケア時に注意喚起でき

るよう年間計画を立てて取り組みを行っています。具体的には、多職種でのベッドサイドカンファレンスを行うことで、患者さんの変形や拘縮に合った体位の工夫や、患者さんへのケアの基本や一人ひとりについての留意点を確認しています。入院されている患者さんの安全安楽を常に考えて、患者さんの行動範囲を狭めないためにも、今後も取り組みを継続し意識を高く保ち、研鑽を積んで骨折予防ケアをしていきたいと思っています。



MRI装置を更新しました

診療放射線技師長 宮本 眞也

初めまして。2025年1月1日付であわら病院放射線科の診療放射線技師長として着任いたしました宮本と申します。よろしくお願い申し上げます。

当放射線科では、本年2月末にFUJIFILM社製の永久磁石型0.3TオープンMRI「AIRIS Vento」に更新いたしました。このMRIは高いオープン性を持ち、「やさしい」検査環境を提供できるため、幅広い患者さんに対応可能です。検査対象は頭部、腰部、腹部、股関節、膝と多岐にわたり、脳梗塞が疑われる場合には中核病院への橋渡しも行っております。オープン型のため、横面に壁がなく、トンネル型に比べて開放感があります。検査時間は25分から45分です。検査後の結果は遠隔読

影システムを使って行い、緊急読影依頼をいただいた場合、画像送信後1時間以内に放射線科専門医が所見をつけて報告いたしますので、早急に結果を知りたい患者さんにも安心して検査を受けていただけたと思います。腹部検査の場合は、検査前に食事を制限していただく必要がありますが、その他の検査部位については当日に検査ができる体制を整えております。当日でも対応いたしますので、依頼がある場合は当院地域医療連携室にご連絡いただければ幸いです。





地域医療連携施設のご紹介



あわら病院と連携している医療機関等をご紹介します

アプトケア・三国

アプトケア・三国は、福井県坂井市三国町に位置する高齢者介護・支援施設です。

2008年4月15日に開設され、豊かな自然環境の中で利用者の尊厳を支える介護サービスを行っています。施設は、鉄筋コンクリート5階建てで延べ床面積は3030㎡です。エレベーター2基・ナースコール・ロビー・談話スペース・食堂・一般浴・特殊浴などの設備が整っています。

アプトケア・三国では、入居保証金や権利金を一切頂かず利用者が自立した生活を営むための支援を行っています。サービス付き高齢者向け住宅(個室／29部屋・夫婦部屋／4部屋)住宅型有料老人ホーム(個室／20部屋)・通所介護事業所(定員30名)・認知症対応型通所介護事業所(定員12名)・訪問介護事業所・居宅介護支援事業所を運営しています。

利用者の意思と自己決定を最大尊重し、安心・安全・信頼を基本理念として、住み慣れた地域で余生をその人らしく楽しく安全に生活できるように職員一同支援しております。今後ともよろしくお願い致します。

代表取締役 宇野 秀俊



アプトケア・三国
〒913-0016
福井県坂井市三国町
三国東二丁目9-23
TEL (0776)60-0105
FAX (0776)82-0006
Mail: info@aptcare.jp

地域医療連携室だより

地域医療連携室 退院支援看護師 奥野 美貴

あわら病院では令和6年1月の能登半島地震で被災した複数名の入院患者さんを福井県の病院より受け入れを行いました。被災された患者さん・ご家族への対応は初めてであったため、多職種でカンファレンスを行い、市役所へ相談させていただき進めていきました。

入院時のご家族への面談については、被災されているご苦勞を配慮しながら、入院前は患者さんがどのような場で生活されていたのか、退院後の生活の場についてはどのようなことを望まれているか、ご家族はどのような状況であるかを電話で確認しました。また、施設職員に施設入所の経緯や、普段の様子について確認すると、施設職員も被災されており担当者に連絡が取れるまで時間を要することもありました。住み慣れ

た地域への退院が可能かどうか社会資源の復旧状況を定期的に市役所に問い合わせを行い、患者さん・ご家族が望む暮らしについて一緒に考えて進めていきました。退院先としては、居住地に近い石川県内の病院に転院された方、福井県の施設に入所された方、施設の復旧目途が立ち次第、元の施設に戻られる方がありました。災害はいつ、どこで起こるかわかりませんが、その時々に応じた対応をしながら、あわら病院がめざす「多くの人の笑顔のために」退院支援看護師として尽力していきたいと考えております。



外来担当医表

(令和7年4月1日現在)

診療科		月	火	水	木	金
総合	内科	見附 保彦	見附 保彦	大槻 希美	浦崎 芳正	野村 量平
	小児科	川満 徹*	川満 徹*	川満 徹*	福井大学医師*	川満 徹*
専門	リウマチ		津谷 寛		津谷 寛	
	血液・腫瘍			浦崎 芳正*		大槻 希美(第2・4)
	生活習慣病			桐場 千代(第2・4)		伊藤 和広
	老年					栗田 敦(第1・3・5)
	神経					内田 待望
	循環器			見附 保彦	見附 保彦	
	整形外科	山本 泰資				
	皮膚科		若原 真美*			
	眼科				吉岡 達也*	
	地域ケア		栗田 敦			
	禁煙外来	見附 保彦				

● 受付時間(午前診療) 8:40~11:30 ● 黄色枠は予約制

● *印は午後診療 ● 休診日/土・日・祝日・年末年始

※皮膚科の診察は、火曜日の13:00~15:00(受付時間14:30まで)です。

※最新の医療体制についてはあわら病院ブログ「診療体制の最新情報」をご覧ください。



ひなまつの行事食



3月3日は桃の節句(ひなまつり)です。あわら病院では『桜ちらしずし』、『菜の花のお浸し』、『桃のお花のお豆腐入りすまし汁』、『三色ゼリー』を提供しました。

ピンク色や緑色といった春らしい色合いで、春の華やかな雰囲気を楽しんでいただけるように工夫しました。

あわら病院の桜が満開になるのが、今から待ち遠しいですね。

バレンタインコンサート in あわら病院



2月10日に、各病棟と、在宅支援事業所あおばにて大阪モーツァルトアンサンブルの方々と、ソプラノ歌手の片岡未希子さんを招きコンサートを開催しました。院内でのコンサート開催は6年ぶりです。

職員も患者さんも弦楽演奏の音色とソプラノの歌声にうっとり、音楽に合わせて手を振ったり、一緒に歌ったりとても素敵な楽しい時間を過ごすことができました。

独立行政法人

国立病院機構 あわら病院

福井県あわら市北潟238-1

TEL.0776-79-1211(代表) FAX.0776-79-1249

〈地域医療連携室〉 FAX.0776-79-1261

URL <http://www.awara-hosp.jp/>

交通のご案内

えちぜん鉄道「あわら湯のまち」駅より(約5km) 乗合タクシー[事前に登録が必要です]

ハピラインふくい線「芦原温泉」駅より(約10km) 乗合タクシー[事前に登録が必要です]

※乗合タクシーを利用するためには事前に登録が必要です。

乗合タクシー(デマンド交通)は、お電話一本で、停留所から目的地の近くの停留所まで直接行けるシステムです。

《お問い合わせ先》あわら市役所 生活環境課 生活グループ 0776-73-8017